新たな市場を創る 九州・沖縄の企業

地方創生九州・沖縄 2015 夏

地方創生において働く場の確保で地域を支え、けん引するのは企業。その盛衰は地域の浮沈を左右すると言っても過言ではない。今後も企業が果たすべき役割や責任は大きくなるばかりだ。そんな中、九州・沖縄には自社の能力をフルに発揮し、時代の要請に応える製品やサービスを展開している企業が数多く存在する。

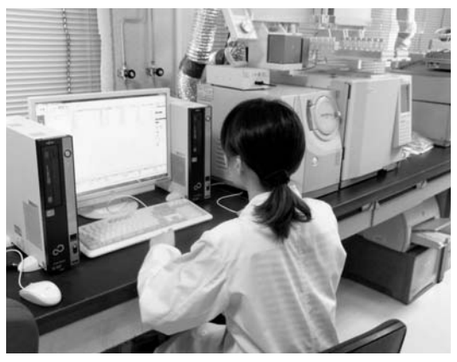
CRCグループ

食品検査ＩＳＯ17025認定

CRCグループは西日本トップクラスの各種検査実績を誇る。その中で食品検査や水質検査、大気検査、環境検査などを行うのがシー・アール・シー食品環境衛生研究所（福岡市東区、江川智広社長、092・623・2211）。今年6月、ISO17025の認定を受けた。

170225は、試験・校正プロセスの国際規格。製品や製品の機構部品・材料・原料の特性、性質などについて公的な試験結果を得るために行う試験プロセスや、測定機器・装置を標準機器と比較して公的な校正結果を得るために欠かせない。

「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録されたこともあり、食品を輸出する企業が増えている。ISO17025認定の試験所・校正機関は、高いレベルの試験であることを客観的に証明できることから、顧客や新規取引先の信頼性向上に役立つ。実際、食品の輸出を図る顧客には、同認定が取引条件の場合もある。


CRCの検査のイメージ

キューヘン

ＥＶ充電 小型軽量・効率化

キューヘン（福岡県福津市、田處正隆社長、0940・42・1364）は、電気自動車（EV）用急速充電器「Q Charge」を開発した。変圧器など電力機器メーカーのノウハウを生かし、インバーター技術により小型軽量化して施工性を高めた。高さ1620ミリ、幅350ミリ、奥行き450ミリメートル。出力は30キロワットに設定している。

同製品にプラグは2本ある。これは2台同時に充電するのではなく「シリーズ充電」と呼ぶ方式で運用するため。これは片方のプラグの充電が終わったら、もう一方で充電を始める方法。プラグ1本が使用中に、片方をEVに接続しておく。先に始めた充電が完了次第、自動的にもう片方の充電が始まる。

この方式だと充電器の近くで前の車が充電を終えるのを待つことなく、買い物などで車を離れていても充電が始まる。充電時間は30分間で8割程度。カラーのタッチパネルを採用するなど操作や状態を確認しやすくした。

電気自動車用急速充電器

堀内電気

太陽光発電「営農型」を計画

堀内電気（福岡市南区、堀内重夫社長、092・588・6180）は、1997年から太陽光発電設備の設計、施工を手がけている。山間地などの場合は造成から設置、運用管理まで一貫して行う。不要になった場合は撤去工事も行う。

最近は太陽光発電の権利付き土地購入を依頼されるケースが増えている。メンテナンスでは大手ゼネコンからの依頼もある。リアルタイムの遠隔監視では送電遮断やパワーコンディショナーの不具合などに対応する。

同社自体は九州や中国・四国地方で発電を行っている。今後3年ほどで出力30メガワット規模の保有を目指している。その中には2メガワット以上の特別高圧案件があり、同社初の特別目的会社（SPC）による発電所となる。

現在、農地が使える状態で発電する「営農型太陽光発電所」を計画中。耕作放棄地の有効活用法として自治体などに注目されている。また、ため池などに浮かべる浮体式の開発に取り組んでいる。

鹿児島県内に開設した太陽光発電所

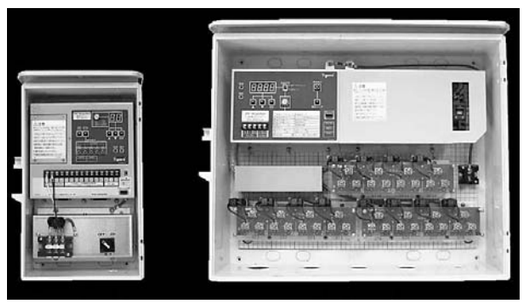
戸上電機製作所

太陽光発電を安全・安心に

戸上電機製作所は太陽光発電システム用異常検出装置「PVウォッチャー」を開発した。これは同システムのストリング単位の発電量やパワーコンディショナー（PCS）、連系用高圧開閉器、その他周辺機器などの異常や動作を集約監視する装置。これにより発電異常、PCSの解列や連系用高圧開閉器のトリップによる発電停止（売電停止）を検知し、表示ならびに通報（オプション）する。

異常の早期検知に加えて、ストリングと周辺機器の異常を短時間で特定できるため、売電の機会損失を最小限に抑制することが可能となる。

今後は、シリーズ化による展開を進めている「PVドクターシリーズ」の新たなラインアップに「PVウォッチャー」を加える。そして太陽光発電システムの設計・提案から施工・点検（メンテナンス）までのトータルサポートを充実させ、太陽光発電（新エネルギー）事業において、さらなる「安全」「安心」を提供していく。


売電の機会損失を減らす

C&Gシステムズ

金型設計・製造をサポート

C&Gシステムズは金型業界のサポーターとして金型設計・製造向けCAD／CAMソフトウエア製品の開発、および現地サービスを提供している。「技術立国日本を代表するCAD／CAMソリューションメーカーとして世界のモノづくりに貢献する」ことが経営理念だ。

今年、日本は航空機元年と言われている。航空機産業は高精度加工や難削材加工など高度な金型加工技術を生かせる産業分野である。金型加工は5軸制御を駆使した高精度・高効率加工などCAMによる高度なパス生成が必要。同社の「CAM・TOOL（キャムツール）」も大物加工へ適用範囲を拡大するなど、改良を重ねてきた。

コア技術である自社製CAMエンジンを他社にOEM供給するなど、多くの部品加工現場で同社の技術が利用されている。年内には「EXCESS・HYBRID（エクセスハイブリッド）」も大幅にリニューアルし、金型設計環境を刷新する予定だ。

改良を重ねてきたキャムツール

第一交通産業

沖縄県内で事業基盤固める

第一交通産業は沖縄県内での事業基盤を固めている。2004年に那覇交通（現那覇バス）を取得して沖縄県に進出。県内バス路線のシェア7割を占め、観光バスを含め約630台を運行する。那覇市中心部で進んでいる市街地再開発事業にも参加して、バス事業との相乗効果を図る。

再開発は「モノレール旭橋駅周辺地区市街地再開発事業」。モノレール、バスターミナル、国道の結節点という交通利便性の高い地区（4・5ヘクタール）に複合ビルが建設される。進めているのは県などが出資する会社で総事業費は約436億円。知、交通、交流、ビジネス、観光、環境の拠点を形成する。18年3月の完成予定だ。

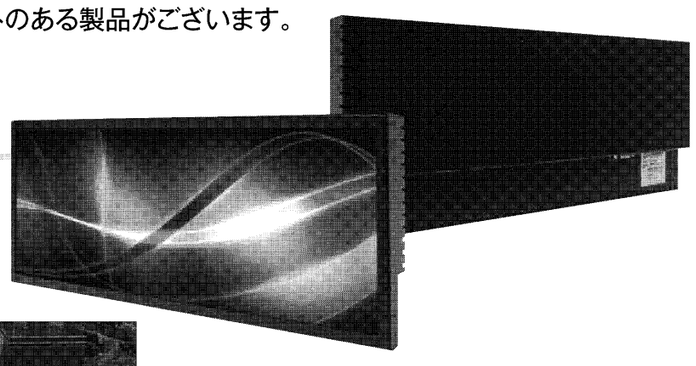
再開発の中心ビルは地上11階、地下1階で延べ床面積は約6万5100平方メートル。県立図書館も入る。第一交通産業は、1階と地下1階のバスターミナルで合計約1万2950平方メートル、2階と3階の商業施設部分で合計約7500平方メートルを取得する。取得額は合計で約35億円となる。

同社がかかわる那覇市の再開発ビルの完成イメージ

日本、韓国、台湾の
先進FA用機器と部品をお届けします。

FA用機器、商品も国際的に選択が可能となってきました。
単に価格メリットがあるのみならず、他国に先駆けた先進技術の製品、日本では衰退した製法を受け継いだ部品など、日本の製造業に大きなメリットのある製品がございます。

台湾のResizingLCDメーカー
Litemax社



48.4インチ（1920×358）㎜
ハイビジョン、防水オプション可能、高輝度
リサイジングLCD
日本国内でも対応の少ない品種を揃えております。

韓国の産業用量産バッテリーメーカー
DaejinBattery社（大進電池）

ソーラー、UPS用　Deep Cycle Gelバッテリー
メンテナンスフリー、長寿命、幅広い用途

半導体・メカトロニクス・情報システム・FAソリューションプロバイダー
Yashima monotsukuri company
八洲（やしま）産業株式会社
http://www.yashimasangyo.co.jp　E-mail:sales@yashimasangyo.co.jp

本社営業本部　〒815-8529　福岡市南区大楠2-9-14　Yビル2F
TEL:092-521-0761　FAX:092-531-8021
海外営業部:y.choi@yashimasangyo.co.jp

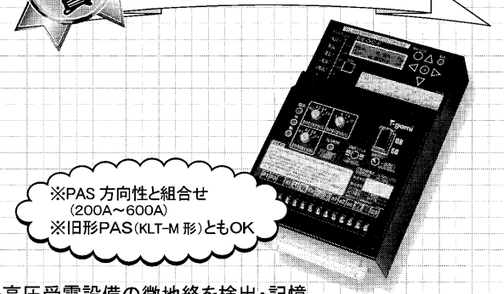
東京支店東京営業部　〒101-0032
東京都千代田区岩本町2-4-3　太陽生命神田ビル10F
TEL:03-5822-1860　FAX:03-5822-1861

ソウル支店　702, 7F, 58, Nonhyeon-ro 85-gil, Gangnam-gu, Seoul, KOREA　TEL.+82-70-4755-8804-5

PVドクター　太陽電池故障箇所特定装置
◆4ストリング分の測定結果を1画面に表示
相対比較により良否判定が簡単
◆故障箇所(断線箇所)の特定が可能
◆ストリングを構成するモジュールの配置を特定

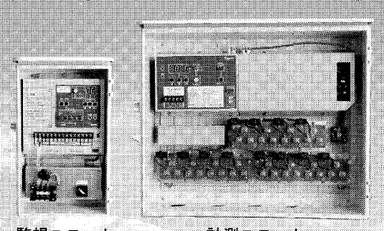
ストリングトレーサ（I－V特性測定装置）
セルラインチェッカ（故障モジュール特定装置）

高圧絶縁監視機能付方向性SOG制御装置
受賞　JECA FAIR 2012 製品コンクール
経済産業大臣賞



※PAS 方向性と組合せ
（200A～600A）
※旧形PAS（KLT-M 形）ともOK
◆高圧受電設備の微地絡を検出・記憶
◆微地絡の発生状況を確認し、予防保全を行うことができる
不意の停電を防止できます

太陽光発電システム異常検出装置　PVドクター
1 異常の判る化　2 発電量の見える化
◆発電量低下や発電停止の異常を検知
◆既設のシステムへの後付けに対応可能
◆監視目的や導入コストに応じたシステム選択が可能


監視ユニット　計測ユニット
NEW!! PVウォッチャー

T·gami　90th Anniversary　無限に広がる夢・未来。
株式会社 戸上電機製作所
〒840-0802 佐賀県佐賀市大財北町1-1
http://www.togami-elec.co.jp/
不明な点・お気づきの点などございましたら
お客様サービスセンター（本社：佐賀）
受付時間/営業日の8:30～17:00
0120-25-7867（悩むな）ナヤムナ